

令和5年度教育課程研究集会
中学校 社会

社会科における「指導と評価の一体化」を進める授業改善

—「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実—

令和5年8月
奈良県教育委員会事務局
学ぶ力はぐくみ課
野瀬 彰

本日の内容

- 1 社会科における「指導と評価の一体化」
- 2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価
- 3 大和郡山市立郡山西中学校 片浦亮先生の実践発表

1 社会科における「指導と評価の一体化」

社会科で育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力、人間性等

主体的に学習に取り組む態度と、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情

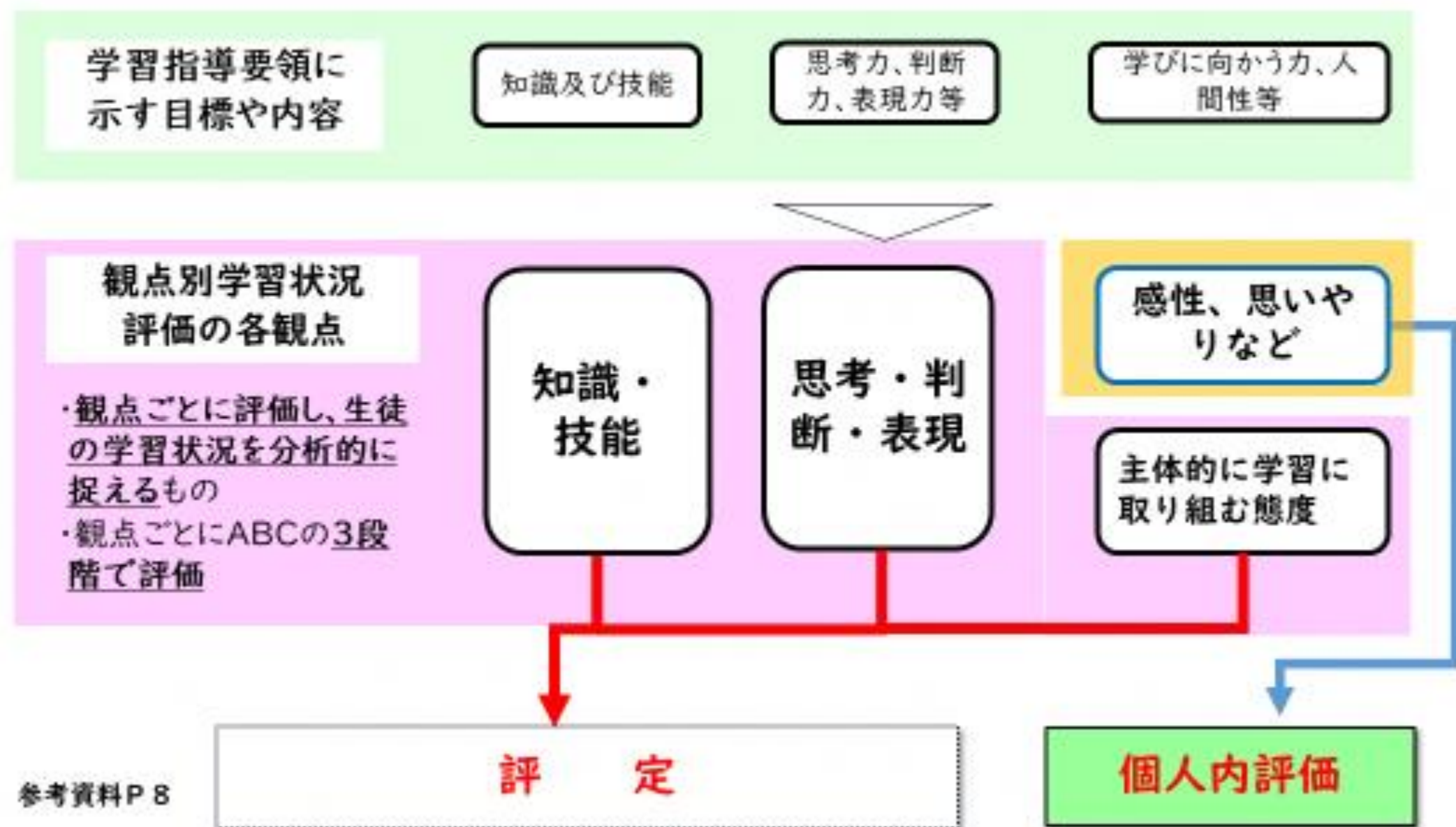
社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べまとめる技能

知識及び技能

社会的事象等の意義や意味、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その課題に向けて構想する力や、考察したことを説明する力、それらを基に議論する力

思考力、判断力、表現力等

各教科における評価の基本構造



社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、

広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

(中学校学習指導要領)

「社会的な見方・考え方」

社会的事象を

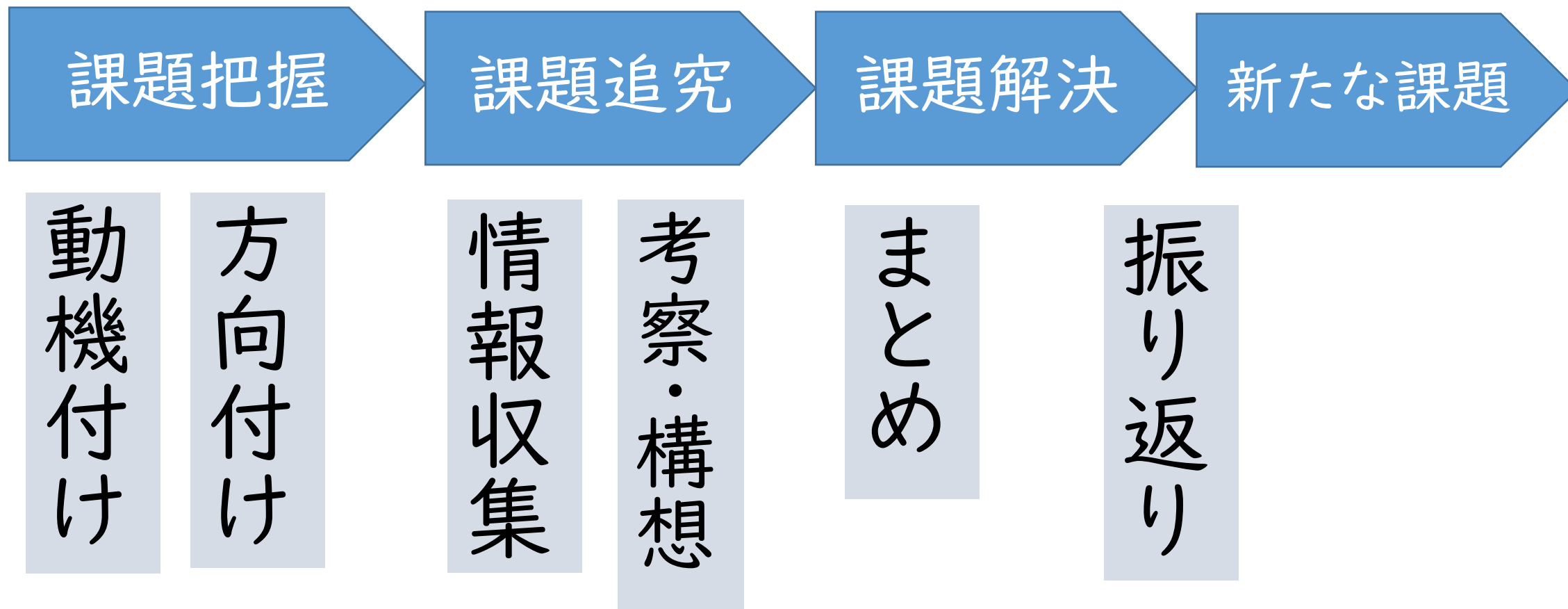
- ◇位置や空間的な広がり
- ◇時期や時間の経過
- ◇事象や人々の相互関係に着目して捉え

視点

- ◆比較・分類したり、
- ◆総合したり
- ◆地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

方法

課題解決的な学習における学習過程のイメージ



2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

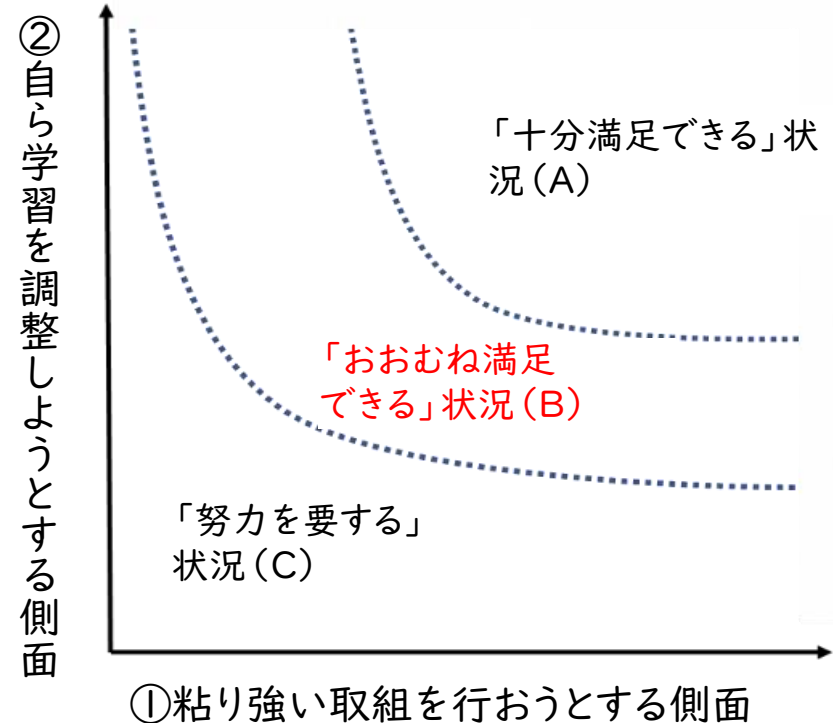
「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

「主体的に学習に取り組む態度」については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は、実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



「主体的に学習に取り組む態度」の評価

<評価の工夫(例)>

- ノートやレポート等における記述
- 授業中の発言
- 教師による行動観察
- 生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いる。

※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価を行う。
(例えば、ノートにおける特定の記述などを取り出して、他の観点から切り離して主体的に学習に取り組む態度」として評価することは適切ではない。)

「今日の授業は楽しかった」など**社会科の内容と関わりない記述のみ**を取り出して評価するわけではありません。

社会科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

粘り強く取り組んでいる

自己調整している

前時までのノートを見返している姿
「前の時間はどうやって考えたかな…」

行動観察

見通しをもち、課題解決しようとする姿
「どの資料を調べたら、分かるかな…」

課題解決に向けて試行錯誤している姿
「他の資料を調べた方がいいかな…」



自分の課題解決した方法を自己評価し、さらによいものを求める姿
「ここを変えたらもっと分かりやすくなりそうだな…」

課題解決をした後、新しい問いを見だしそうとしている姿
「もっと調べてみないなあ…」

学んだことを他の人に説明することを念頭において、説明を書き加えている姿
「これも書いておいた方が説明しやすいかな…」

社会科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

自らの学習を調整しようとする側面とは…

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面

評価にあたっての工夫

- ①自らの学習の状況を振り返ることができるような発問の工夫
- ②他者との協働を通じて、自らの考えを深めるする場面を設ける
- ③学習のめあてや見通しをもたせたり、その達成状況を振り返らせる

①単元の最初と比べて考え方が変わったところは？

②友だちの意見も聞いて、自分の考えを見直してみよう！

③どの資料が課題解決の役に立ったかな？



「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成に当たっての留意点

「主体的に学習に取り組む態度」について

・従前の学習指導要領から一貫して重視されてきた課題の発見、解決のための「思考力、判断力、表現力等」の育成とも相まって、現実の社会的事象を扱うことのできる社会科ならではの「主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成」が必要である。

※教科の特性を踏まえつつ、この観点については、単元を越えて評価規準を設定するなど、ある程度長い区切りの中で評価することも考えられる。

片浦先生の実践発表について

- ・単元を通して、課題解決的な学習を進めている
- ・単元のなかで、課題解決に向けて見通しをもたせる場面、振り返らせる場面を設定している
- ・「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点と結び付いた「主体的に学習に取り組む態度」の観点から評価している